

シュクリッヤー



モルディブ体育隊員 通信



2020/2/29 No.2

2019年度2次隊 五味あずさ（入間市出身）

こくさいぼご 国際母語デー

こくさいぼご

2月21日は International Mother Language Day（国際母語デー）ということで、学校ではイベントがありました。先生も子どもも伝とう衣しょうを着て、子どもたちはげきやスピーチなどをしました。



▲ モルディブの言葉はディベヒ語、文字はターナ文字です。

イベントでは日本語の歌を歌ってくれた子どもがいました。9年生（日本でいう中学3年生）のソネハさんです。「日本の歌を知りたい」と言われたので、私は『どこから来たの?』を教えました。この曲は私の出身地・入間市の歌です。歌の中に「大きなまちではないけれど、たった一つのふるさと」というフレーズがあります。これは小さな島国・モルディブと似ているなと思いました。

そして、イベント当日。ソネハさんは日本語で「日本の歌を歌います」と言ったあと『どこから来たの?』を歌いました。ソネハさんは学校で会うたびに、私に歌をうたってくれていたの、本番も上手でした。私はソネハさんの歌をききながら、出身地の歌を、モルディブという国で、そして国際母語デーにきけたことを、うれしく思いました。

ちなみに「シュクリッヤー」はディベヒ語で「ありがとう」という意味です。「ありがとう」の気持ちを大切に、活動していきたいと思います。



▲ 『どこから来たの?』を歌っています。一番右がソネハさんです。
女の子の伝とう衣しょうは「ディグ（長い）ヘドゥン（服）」といいます。